



2024年3月15日

各位

会社名 オーウェル株式会社
代表者名 代表取締役社長 川戸 康晴
(コード: 7670 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 秋谷 浩史
(TEL 06-6473-0138)

新中期経営計画「MAP24-26」の策定に関するお知らせ

当社は、このたび2025年3月期から2027年3月期の3か年を対象とする新中期経営計画「MAP24-26※」を策定いたしましたので、下記の通り概要をお知らせいたします。

※MAPは、「My Action Plan=私の計画」と「進むべき地図」の意味を込めています。

また、「24-26」は2024~2026年度の3年間を表しています。

1. 新中期経営計画策定の背景

お取引先様をはじめ世界の「ものづくり現場」は、DXやSXといった社会的な概念が浸透・実現される中で、既存の枠組みやシステムを大きく変えながら、持続可能な世界の創造・実現に向けて、継続的な発展・進化を続けております。

そのような環境のもと、当社グループは、「ものづくり現場の発展・進化をリードし、持続可能な世界の創造・実現に貢献する」を新たなビジョンに掲げ、さらに社会に貢献し続ける企業となるべく、本計画を策定いたしました。

なお、2024年4月1日より、報告セグメントの名称「塗料関連事業」を「コーティング関連事業」に、「電気・電子部品事業」を「エレクトロニクス関連事業」に変更いたします。変更は名称のみであり、組換えなどによる開示情報の変更はございません。

2. 新中期経営計画の概要

(1) ビジョン

「ものづくり現場の発展・進化をリードし、持続可能な世界の創造・実現に貢献する」

(2) 新中期経営方針

「提供価値を革新し、創造する」

(3) 目標値

	2027年3月期目標
売上高	770億円
営業利益	18億円
経常利益	20億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	13億円
ROE	8.0%超

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上



中期経営計画

M/P 24-26

2024年3月15日(金)

オーウエル株式会社 (証券コード:7670)



目次

1. 企業理念・ブランドプロミス・目指す姿	2
2. 現状認識	7
3. 方針・方策	20
4. 経営基本目標	26

1. 企業理念・ブランドプロミス・目指す姿

企業理念

オーウエルの「社会的使命」は、

最適整合の創造

「企業目標」は、

意欲あふれる快心企業

その達成のための3つのポリシーは、

- 1. 顧客志向の実践**
 - 2. 理と情との調和**
 - 3. 社会との共感**
-

そして「行動指針」は、

- 1. 違いをつくる思考**
 - 2. 先を行く元気**
 - 3. あたたかい言動**
-

ブランドプロミス

私たちO-Wellは、独自の視点により新しいものにチャレンジするお客様に 考え抜かれたイノベーションをスピーディーに提供します

O-Well の目指す姿

ターゲットとするお客様の価値観

提供する情緒的価値

提供する機能的価値

独自の視点
によって期待を先取りし、
お客様に応える

従来の常識に捉われず、
新しいものにチャレンジする

あらゆる要求に応えるイノベーションと
それを具現化した意匠

考え抜かれた機能と迅速かつ、柔軟なサービス



10年後の目指す姿

グローバルブランド



の樹立

ブランドを支える
「柱」

- ▶ 信用力の継続
- ▶ 塗膜形成力の発揮
- ▶ 事業創造への挑戦

柱をつなぐ
「梁」

- ▶ DX
- ▶ SX
- ▶ 人的資本の充実

ビジョン

ものづくり現場の発展・進化をリードし、
持続可能な世界の創造・実現に貢献する

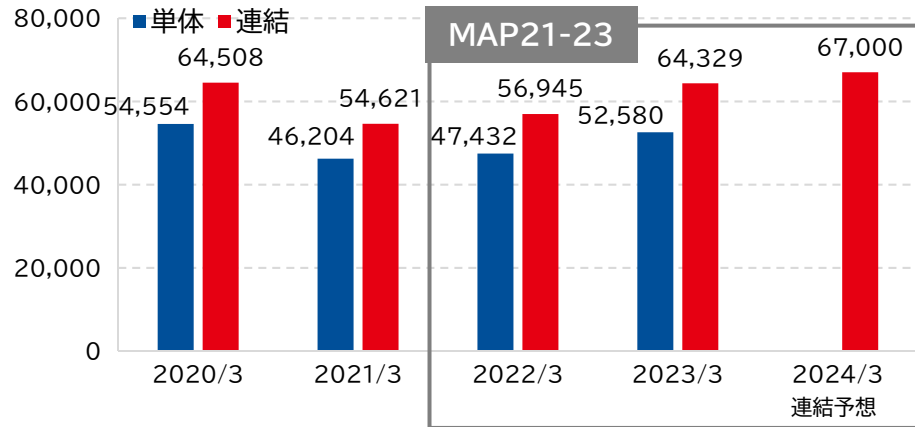
- ものづくり現場の「DX」と「グローバル化」
- 「商材提供」型から、
「ワンストップソリューション提供」型へ



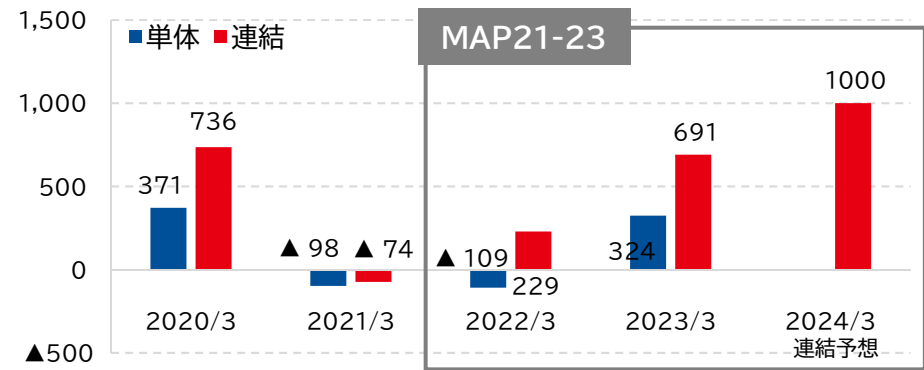
2. 現状認識

業績推移

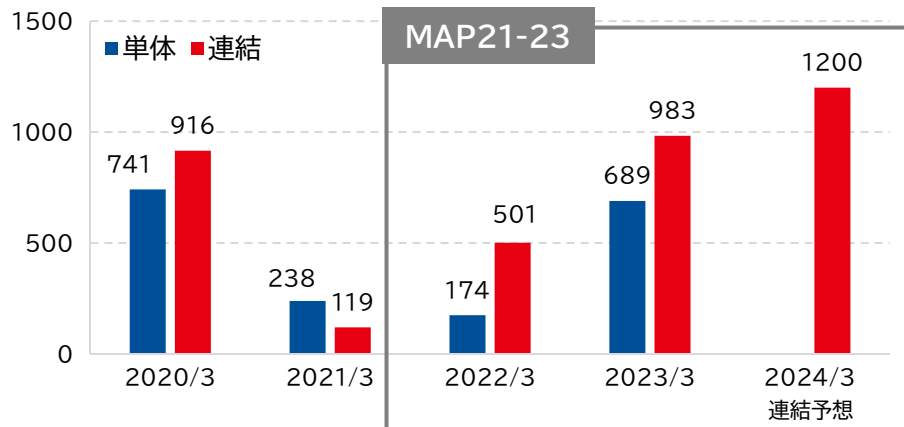
売上高 (百万円)



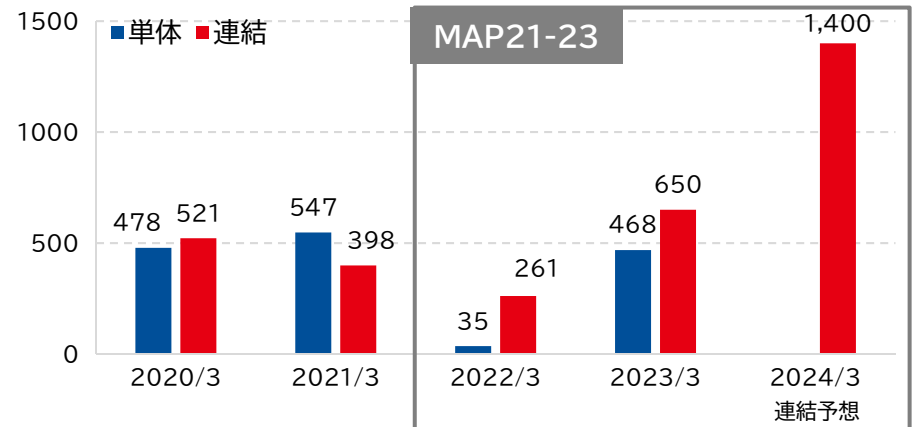
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



MAP21-23 中期重点方針の振り返り

共通事項	マーケティング(需要創造)活動を強化する
塗料関連事業	提供価値を変革する
電気・電子部品事業	DXのトレンドを掴む
経営基盤	収益体質を強化する

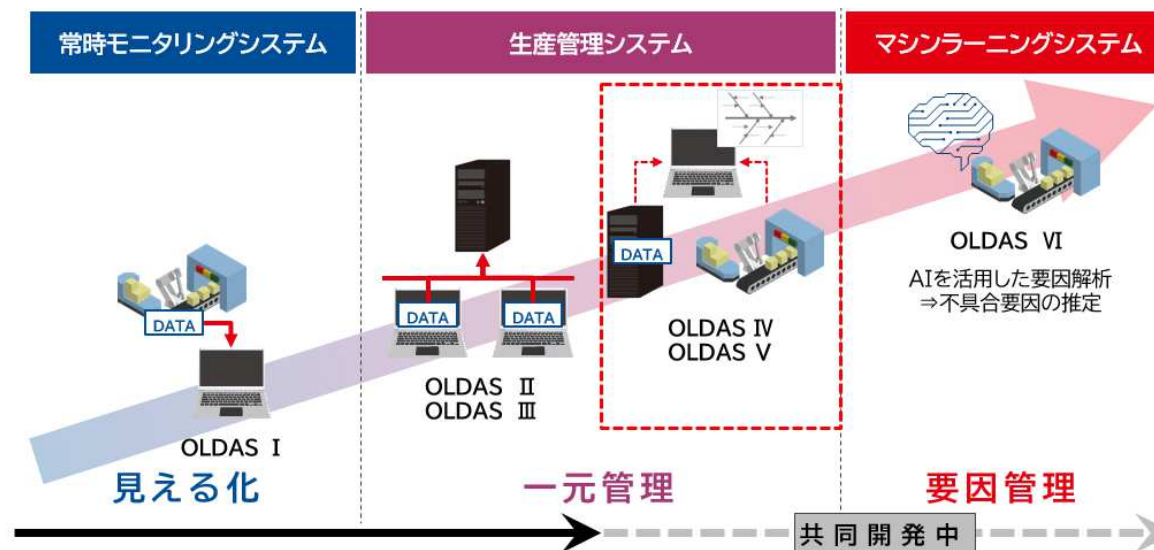
MAP21-23 中期重点方針の振り返り

塗料関連事業

提供価値を変革する

OLDAS～塗装現場の高度化と省人化の実現～

- ▶ 現在の共同開発先との成果 『トレーサビリティの実現』
- ▶ リアルタイムで複数のパラメータを一元管理
- ▶ 不具合調査に掛かる時間を大幅に削減



MAP21-23 中期重点方針の振り返り

塗料関連事業

提供価値を変革する

社会課題解決に向けた取り組み

- ▶ リブレット形成技術の航空機への実装
(JAL・JAXA・オーウエルの共同開発)
- ▶ 当社の塗膜形成技術で空飛ぶクルマの開発を支援
(SkyDrive社とサポーター契約締結)
- ▶ 環境負荷低減(CN)に向け、
粉体塗料の廃粉リサイクルにおける製造工法の検証開始

今回の施工箇所 ※当社の施工方法による



owell

MAP21-23 中期重点方針の振り返り

塗料関連事業

提供価値を変革する

グローバルビジネスの拡大

- ▶ インド
O-WELL INDIA COATINGS & ELECTRONICS PRIVATE LIMITED
ハリヤーナー州 グルگرامに子会社を設立
- ▶ メキシコ
O-WELL MEXICO COATINGS & ELECTRONICS S.A. DE C.V.
ヌエボ・レオン州 モンテレイにモンテレイ支店を開設
- ▶ インドネシア
PT. O WELL INDONESIA
東ジャワ州 スラバヤ市にスラバヤ支店を開設
- ▶ ドイツ
現地法人を経営資源の効率化のため譲渡



MAP21-23 中期重点方針の振り返り

電気・電子部品事業

DXのトレンドを掴む

車載マーケット(CASE)に向けたテーマの創出

- ▶ CASE、特にAの自動運転、Eの電動化領域で採用が広がる
マイクロコントローラ テクノロジー
(モータに小さなICチップを組み込み、制御する技術)
- ▶ 2024年度より納入開始決定



MAP21-23 中期重点方針の振り返り

電気・電子部品事業

DXのトレンドを掴む

新たなマーケットでの需要創造

- ▶ 物流IoTソリューションを国内外で提供
- ▶ プール遊泳者監視システム「nagi」の販売



MAP21-23 中期重点方針の振り返り

経営基盤

収益体質を強化する

業務効率の改善、内部統制の強化

社員の心身の健康増進

- ▶ 経済産業省 健康経営優良法人2024認定
- ▶ スポーツ庁 スポーツエールカンパニー2024認定
- ▶ ワークライフマネジメント実現のための制度の整備

カーボンニュートラル達成への取り組み

- ▶ 温室効果ガスの削減を目指し排出量の算定を実施
- ▶ 環境貢献商品の拡販



内外環境の変化 【外部環境の変化】

1

経済環境

先進諸国の経済成長は鈍化～停滞する中で、
開発途上国の成長は継続

2

ものづくり現場

開発途上国では、日本のものづくり現場ノウハウに、
プレゼンスあり

3

上場企業を取り巻く環境

稼ぐ力の持続化とESG経営への取り組みを両立する
SXの実現に向けた説明～実践が求められる

内外環境の変化【内部環境の変化】

1

政策保有株式の縮減と成長投資の実行

ソフトウェアの開発・販売におけるパートナーシップ強化のため
(株)ミックウェアの株式取得による資本提携

2

組織体制

組織については、顧客課題の抽出～解決を強化し、
更なるテーマ生成・拡大のために、2021年度に
改編した組織を継続する

グローバル展開では、インドに現地法人を設立、
メキシコ、インドネシアは、それぞれ営業拠点を拡充

対処すべき課題

1

OLDAS(塗装現場管理システム)の実装による
工業用塗装の省人化・高度化の具現

2

更なる機能発揮による付加価値の拡大～
収益性の向上

3

グローバルビジネスの創出・拡大

4

資源投入の見直し～事業投資(M&Aを含む)の拡充

5

人的資本経営の実現

報告セグメントの名称変更

塗料関連事業



コーティング関連事業

電気・電子部品事業



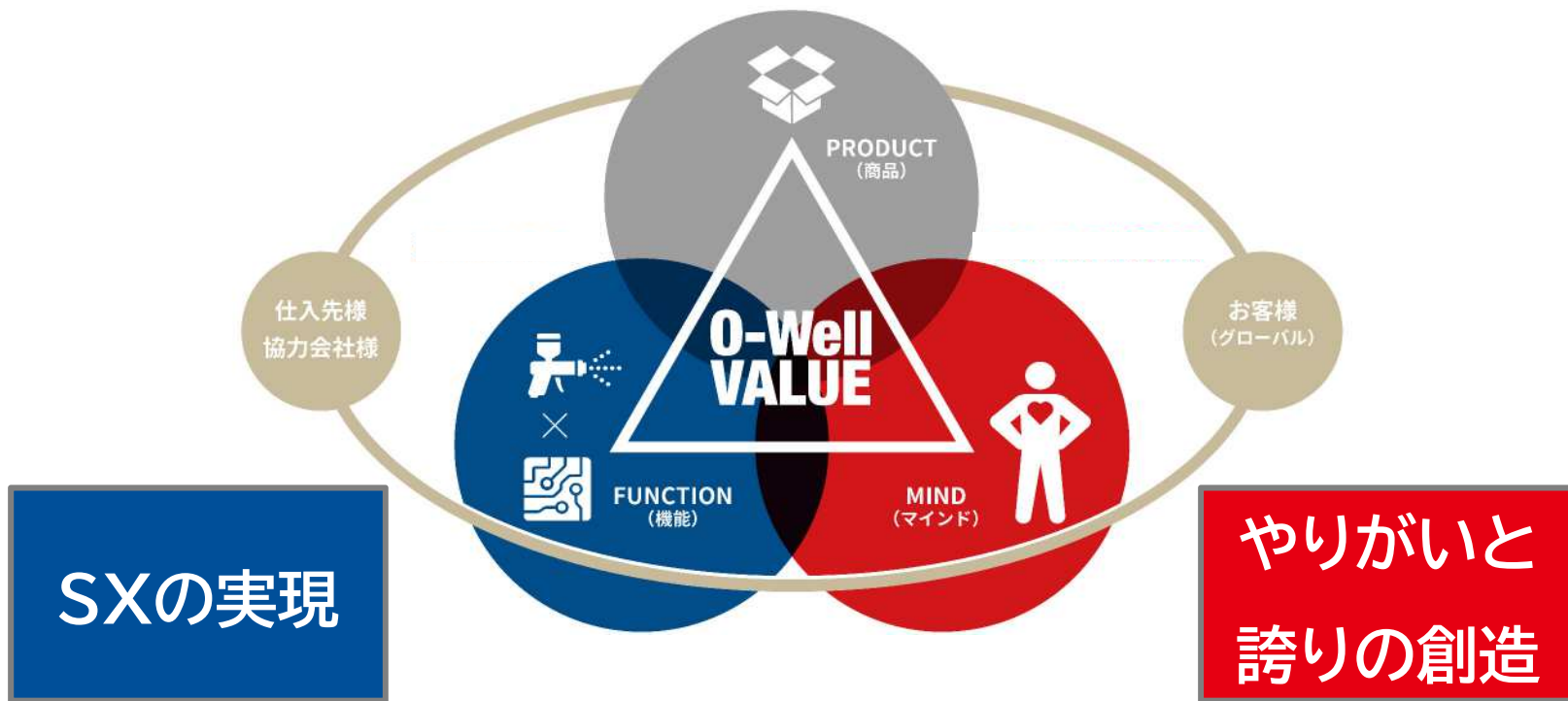
エレクトロニクス関連事業

「商材提供」型から、「ワンストップソリューション提供」型へ
より広範囲の課題解決を目指す

3. 方針・方策

中期経営方針

提供価値を革新し、創造する



コーティング関連事業

中期重点方針

コーティングの未来を創る

培ってきた塗膜形成力を核(コア)とした機能拡大を図ると同時に、未来のものづくりのイノベーションの中においても、我々の提供価値=ビジネス=利益を創る

中期重点方策

方策① 塗膜形成力を磨く



方策② 新たなコーティングビジネスを企画する



エレクトロニクス関連事業

中期重点方針

提供価値を拡大する

これまで育んできたエレクトロニクス分野ビジネスで、我々の発揮する機能を、さらに付与し、さらに拡大する

中期重点方針

方針① センサービジネスを拡大する



方針② 新しい機能を付与する



中期重点方針

資本効率を向上する

今後も社会的責任を果たしながら、持続的な発展と成長を遂げるために、保有・調達する資源(人、もの、金、情報、時間、知的財産)を、適切かつ効率良く活用する

中期重点方針

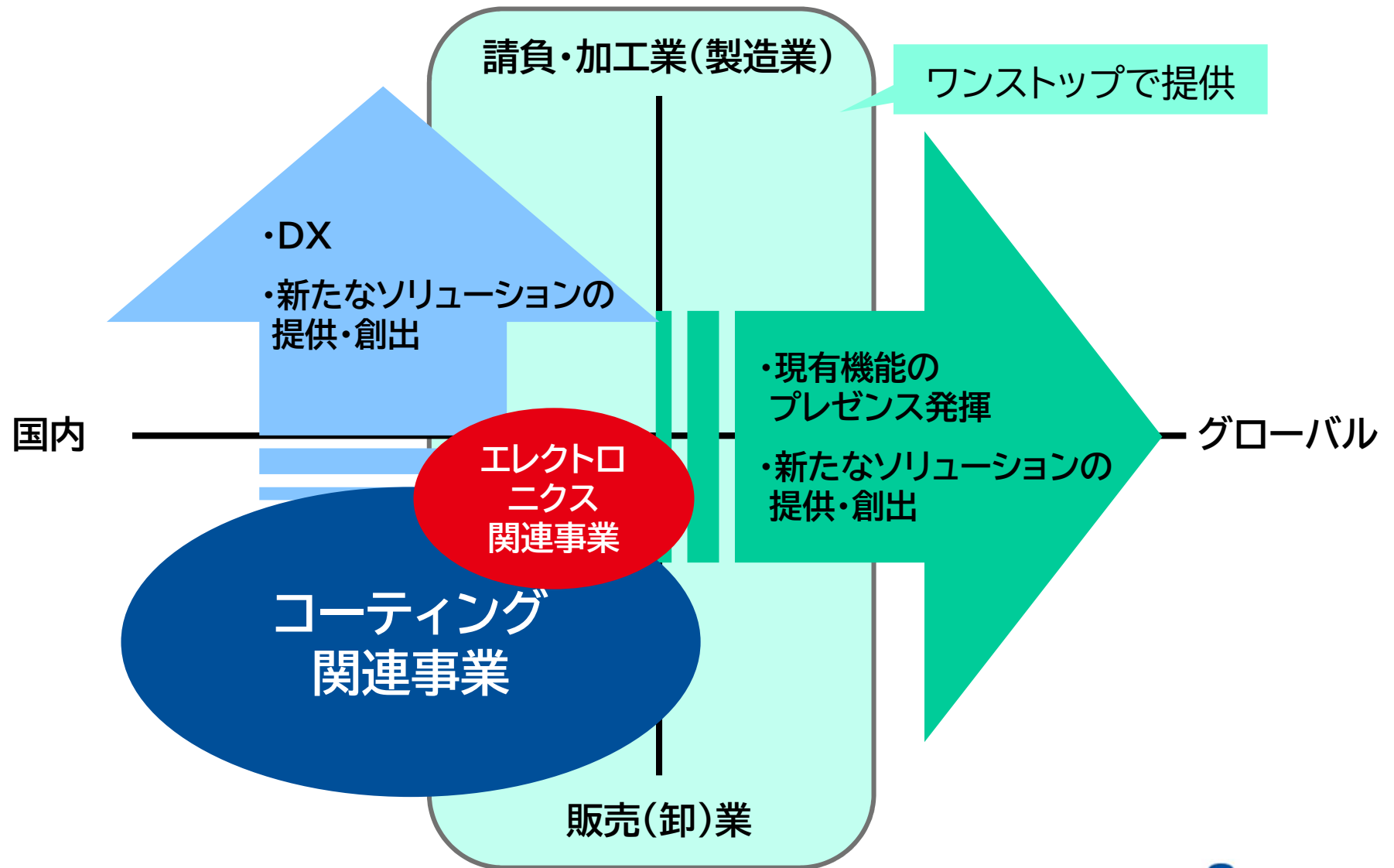
方針① 成長投資を実行する



方針② 人的資本を充実する

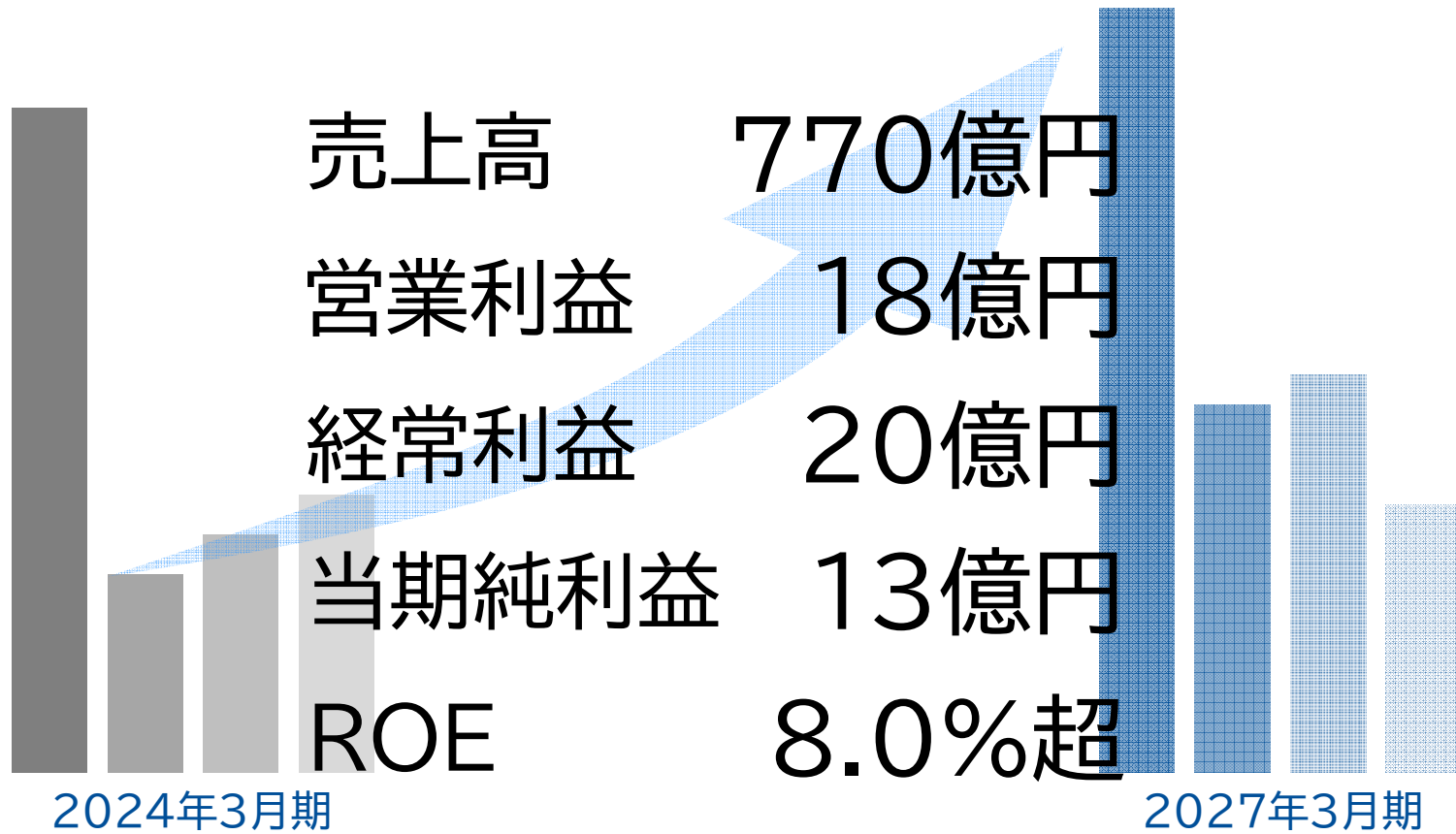


当社グループの事業領域



4. 經營基本目標

2027年3月期目標(連結)



企業価値の向上(PBR1.0倍超)に向けて

《目標》 2027年3月期 ROE8.0%超

1

成長投資

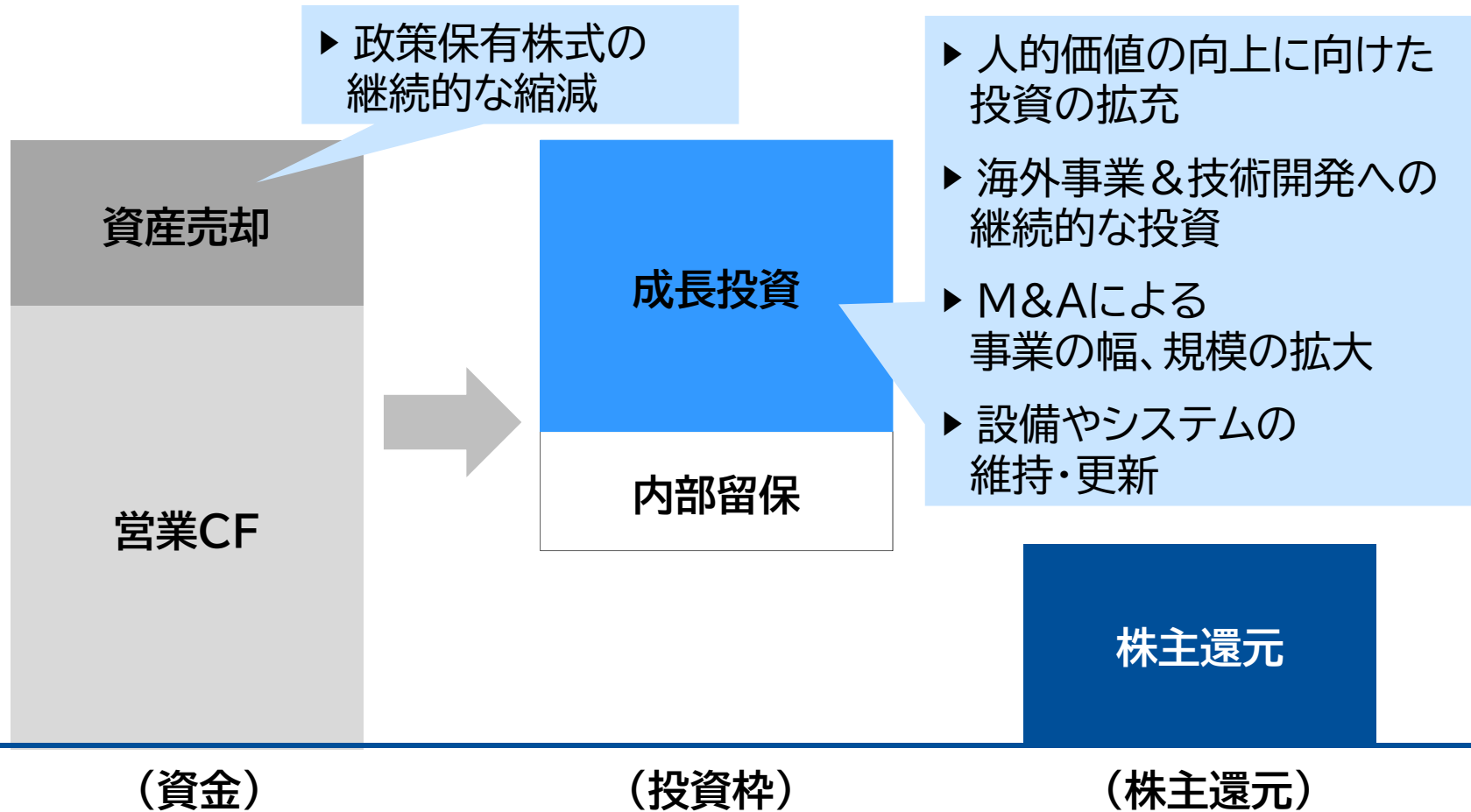
- ・人的価値の向上に向けた投資の拡充
- ・海外事業や技術開発への継続的な投資
- ・M&Aを含む成長事業への投資
- ・既存ビジネスの効率化～稼ぐ力の強化

2

財務戦略

- ・政策保有株の継続的な縮減
- ・内部留保
- ・安定的かつ継続的な配当

成長投資、財務戦略の考え方



持続的な成長と企業価値の向上のため、財務体質の強化と事業拡大のための内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施していく。

人的資本の充実に向けて

人口減少／少子高齢化

従業員の意識の変化
(働きやすさ重視)

従業員の意識の変化
(キャリア志向・プロ化志向)

(優秀)人材の流動化

テクノロジーの進展
(テレワーク・DX)



最適な人的ポートフォリオを
描き、実現する

人的価値を最大限に引き出す
ための人事制度を構築し、運用
する

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、オーウエル株式会社(以下、当社という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済、社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statement)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

- 執行役員 総務部・品質保証部 担当 秋谷 浩史
TEL: 06-6473-0138

Ö*well*

